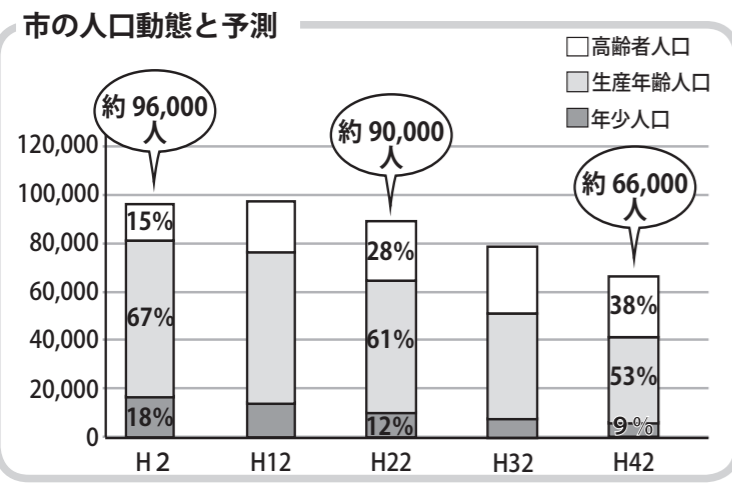




# 公共施設マネジメントに取り組んでいます

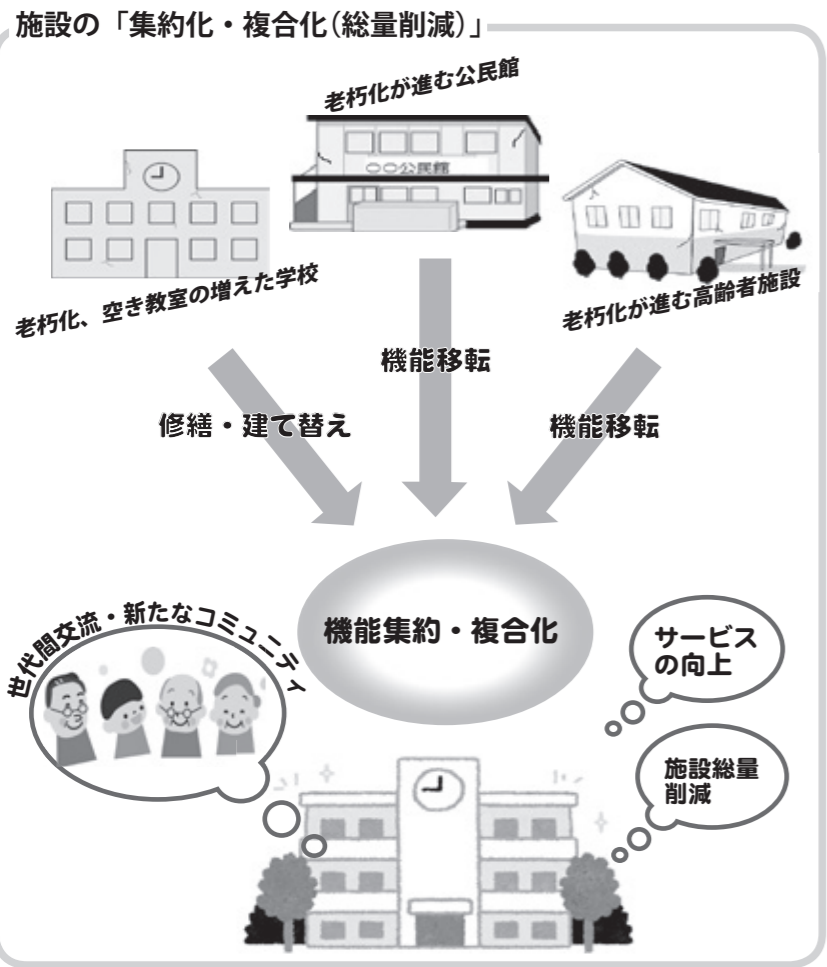
市は、所有する公共施設を身の丈にあった規模とし、市の将来を担う次の世代の過度な負担とならないよう、公共施設の有効活用と改善に向けて取り組んでいます。今回は、取り組みの中で明らかになった日光市の公共施設の現状と課題、課題解決に向けた取り組みをお知らせします。

くわしくは 行政改革課 ☎25-7722



ります。単純計算では、約50%の施設を建て替えて、20年後には施設の負担額も約1・9万円増加することが見込まれます。

しかし、今の便利さや豊かさだけを求め、施設の維持更新のために無理に借金をすれば、子どもたちや孫の世代に大きな負担を押し付けることとなります。



### 課題解決に向けて

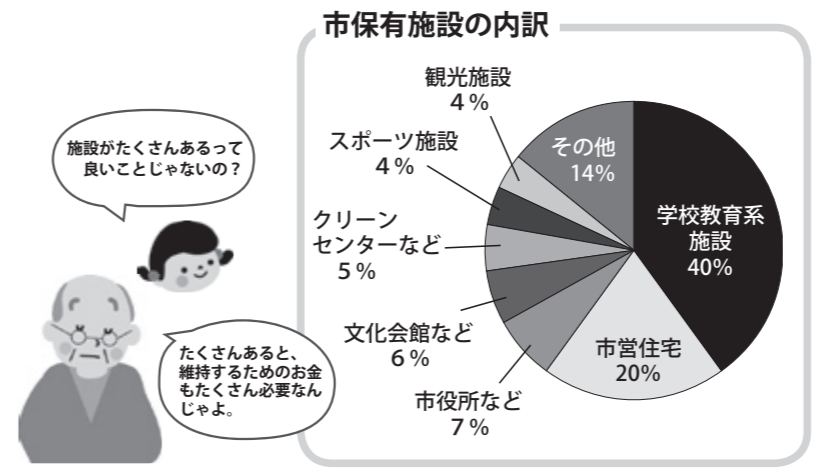
#### ◆公共施設マネジメント計画

「公共施設マネジメント」とは、市が保有している公共施設を身の丈(人口や財政状況)に合った規模にするために、全体的視点で考え、工夫・やりくりすることです。

市は、この計画の策定に向けて検討を進めています。キーワードは、「集約・複合化(総量削減)」と「長寿命化(コスト削減)」です。

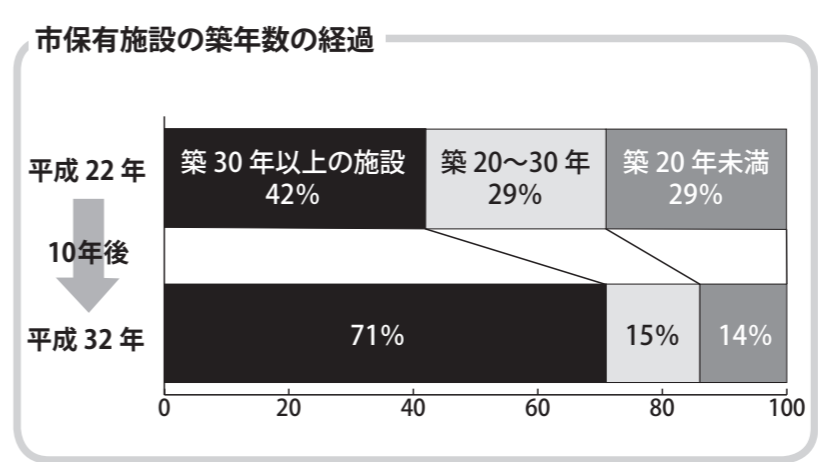
「集約・複合化(総量削減)」とは、老朽化が進む公民館や高齢者施設、児童・生徒数減少により空き教室が増えている学校などの機能を、施設の建て替えや修繕を機に集約・複合化します。

施設が建てられた当時と現在では人口やその構成も異なり、施設に求められる役割やニーズも変化しているため、この計画の策定に向けて検討を進めています。キーワードは、「集約・複合化(総量削減)」と「長寿命化(コスト削減)」です。



#### ◆施設を過大に抱えています

市内にはたくさんさんの公共施設があり、面積にすると53・6万㎡で、東京ディズニーランドと同じくらい広がっています。住民1人当たりでは6・08㎡で、全国平均と比較すると約1・8倍を保有していることになりました。そのうち学校教育系施設が40%、市営住宅が20%を占めています。



#### ◆施設の老朽化が進んでいます

市の公共施設は昭和40年代から平成にかけて集中して整備されてきた。平成22年には、築30年以上を経過する施設が42%を占めていました。10年後の平成32年には、築30年以上を経過する施設が71%と老朽化がさらに進みます。

老朽化した施設は、今後一斉に大規模な修繕や建て替えが必要となります。

#### ◆みんな(オール日光)で知恵を出し合いましょー!

公共施設を今後どうしていくかは、市民の皆さんと行政が情報と認識を共有しながら、一緒に考えることが重要です。次の世代の負担を少しでも減らすためには、少し我慢も必要になるかもしれません。みんなが知恵を出し合い、工夫し、魅力ある日光市を次世代に引き継いでいきましょう!

※1月24日(土)に、公共施設(ハコモノ)のあり方を考えるシンポジウムを開催します。詳しくは、情報ナビ31ページをご覧ください。

#### ◆このまま対策をしないこと...

大幅な財源不足から、必要性の高い施設まで良好な状態で保てなくなると、世代間交流や新たなコミュニティが生まれることも期待できません。

#### ◆長寿命化(コスト削減)

施設が痛んだり壊れたりしてから直すのではなく、早めの点検と計画的な修繕・改修をすることにより、建物を長持ちさせることができます。同じ施設を長く使うことで、施設全体にかかる費用の均一化やコストを削減することができます。

#### ◆人口減少と税収減少により、維持更新費が不足

市の人口は年々減少しており、左ページのグラフのとおり、平成42年には、平成22年と比較して約2万4,000人減少し、約6万6,000人になると予測されています。そのうち、生産年齢人口(15~64歳)の割合は8%減少、高齢者人口は10%増加し、2・5人に1人が高齢者になると予測され、それに伴い税収も減少します。

現在保有する施設を同じ規模で修繕・建て替えようとすると、年平均73・4億円が必要で、それに対し、今後の人口や財政状況などを考慮した上で維持更新に使える金額は、年平均25・8億円程度と見込んでいます。差額の47・6億円が不足することとなり、現在保有する全ての公共施設を現状のまま維持更新することはできません。

※直近の収支などの状況により想定した場合の試算結果です。  
※更新費用にはインフラ(道路・橋梁)に係る費用は含みません。

#### ◆このまま対策をしないこと...

大幅な財源不足から、必要性の高い施設まで良好な状態で保てなくなると、世代間交流や新たなコミュニティが生まれることも期待できません。

※各グラフ・表中の数値は「公共施設マネジメント白書」などからの抜粋です